



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 土居 敏夫
一部52円

日本消防協会定例表彰式 自治体消防制度 70周年記念シンポジウム



平成30年3月6日、ニッショールにて、第70回日本消防協会定例表彰式及び自治体消防制度70周年記念シンポジウムが開催され、愛媛県からは、表彰旗を授与された今治市、竿頭綬を授与された四国中央市・東温市・愛南町の消防団長等が出席した。
また、本年、自治体消防制度が70周年を迎えるにあたり、総務省消防庁、日本消防協会、全国消防長会の共催により、記念シンポジウム「日本消防会議」を開催し、これからの日本消防のあり方について、パネリストだけでなく会場内参加者も含め、幅広い方々ご参加のもと活発な意見発表と議論が交わされた。
日本消防協会、秋本会長が「国民の安全をより確かなものにするため、消防をとりまく状況の大きな変化を真正面から受け止めて、消防関係者は広く総力を結集し、より強い連携のもと、日本消防の総合力の一層の強化をめざすものとする」と宣言し、締めくくった。

自治体消防制度 70周年記念式典

平成30年3月7日、総務省消防庁の主催による自治体消防制度70周年記念式典が、天皇后両陛下ご臨席のもと、東京都墨田区両国国技館で開催され、愛媛県からは、消防長・各市町消防団長等約60名が参列した。
午後からは、今後の全

国における消防防災活動がより一層活性化することを旨とし、消防・防災活動活性化大会が開催された。消防職団員意見発表や長野県3市町の各消防団によるラッパ隊の合同演奏などが披露された。



平成30年度全国統一防火標語 忘れてない？ 財布にスマホに火の確認

支部だより

宇和島市消防団の取り組みについて

宇和島市消防団 副団長 小島 正士



宇和島市は、愛媛県の西南部に位置し、西側を除く三方を急峻な山々に囲まれ、西側は宇和海に面しており、起伏の多い複雑な地形となっております。また、沿岸部の平野や内陸部の盆地に市街地や集落が点在し、総面積は約470km²で、県下20市町のうち、

4番目に広く、人口は7万7千余人で、南予地方の中核都市を担っています。
当市消防団は、平成17年8月に1市3町が合併し、1団・4方面隊・26分団、団員数は2千人を超える県下第3位の組織を編成しており、海岸部から山間部まで幅広い消防団活動が期待されています。
私は今年度から副団長に就任しました。これまでは、分団長として火災や風水害等有事の際は、地域住民の安心安全を確保するため、消防団員への的確な指示によって、団員相互の連携体制を構築することに努めてきました。今後は、22年間の消防団員歴



で培った知識・経験を活かして、南海トラフ地震などの来る災害に備えた消防団員の育成や地域住民への啓発活動をより一層推進していくことが私の役割と自負しています。今年は、消防操法大会の開催年でもあります。これまで輝かしい成績を残してきた諸先輩方に続くように、また消防操法の取組みを通して、消防団員としての規律や節度を習得されるように、消防団員を育成していきたいと思っています。
また、近年では、宇和島市でも少子・高齢化が急速に進み、過疎化も著しく進行しているため、新たな消防団員の確保が大きな課題となっております。今後、関係機関や地域の事業所、自主防災組織等との積極的な役割分担のもと連携を図って、地域の防災活動に取り組んでいかなければなりません。

女性消防団だより

女性消防団員の今後の活躍

砥部町消防団 団員 柳田 真奈美



「女性消防団員の活動ってどんなことをするんですか？」
そのような質問をよく女性の方や地元の方々にされ、明確に答えられない自分がありました。「これではダメだ。もっと目的意識を持って、消防団活動に取り組みよう。」
そのような思いが一層強くな



り、女性消防団の活動を見直すこととしました。
まずは、男性消防団員が日々



どんな活動をしているのか知るため、男性団員の活動に密着した取材活動を計画しました。
計画を実施するに当たって、男性団員の話を聞き、同じ活動を実践してみたりしました。その中で、私が驚いたことがいくつかあります。水防工法訓練にポンプ操法大会、消防出初式などの活動は知っていたのですが、それ以外に、地元の消火栓

点検、自分たちの最大の武器である小型ポンプや消防車の点検など定期的に実施しているのです。
「地元の地利や水利を覚えること、消防車、小型ポンプの点検も消防団活動の一環」という男性団員の言葉に対して、何が起きてても対応できるように準備を怠らない精神が、地域に大きな安心と信頼をもたらすんだと感じさせられました。
この男性団員の密着取材を通して、女性消防団活動の見直しとなる良いきっかけとなりました。女性目線から見た防災用品の備えや応急手当講習の普及啓発、さらに、男性団員に混じり水防工法訓練などの活動の幅を拡げ、地域の方々に信頼される女性消防団員像を追求していきたいと思っています。

<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)

豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめあげたCD-1
小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社
〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

事務局だより 本年度もよろしく
お願いいたします。

愛媛県消防協会
最後に、山下団長が目指す「自分に敵しく、人に優しい消防団」を固く誓い、日々邁進していきたく思いますので、皆様のご理解・ご協力をよろしく願います。

新 消防長・消防団長 ご紹介

平成30年4月1日付けで 消防局長、消防長、団長 に就任された皆さまです。

四国中央市消防本部消防長

近藤 英樹



この度、4月1日付けで消防長に就任いたしましたことは、伝統ある組織を担う重責を感じたいと、共に大変、身の引き締まる思いであります。我々消防に対する社会的期待も今後より一層の高まりを伴うことと懸念され、誰もが安心して暮らせる社会を確保していくため、消防団や、自主防災組織並びに各関係機関と連携を図りながら、市民の皆様方から全副の信頼を頂けるよう全力で消防行政を推進してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東温市消防団長

菅能 英樹



4月1日付けをもちまして、東温市消防団長を拝命いたしました菅能英樹です。南海トラフ巨大地震等、自然災害が危惧されるなか、地域の安心・安全を確保する消防団の役割は、住民からの期待も高くなっております。地域防災力の中核を担う組織であることを自覚し、自主防災組織等との連携強化に努めますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

松山市消防局長

中矢 洋造



この度、4月1日付けをもちまして、松山市消防局長を拝命いたしました中矢洋造です。大規模な被害が想定されている南海トラフ巨大地震に対応するため、今後も消防団をはじめ、産官学民の関係団体との連携を強化し、地域防災力の向上に努めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

宇和島地区広域事務組合消防本部消防長

脇本 茂久



4月1日付けをもちまして、宇和島地区広域事務組合消防長に就任いたしました脇本茂久です。責任の重さと使命の大きさを痛感し、身の引き締まる思いです。住民の皆様方の負託に応えるべく、職員一丸となって職務に精励し、最善を尽くす所存です。今後とも更なる御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

松前町消防団長

嘉村 重雄



4月1日付けをもちまして、松前町消防団長を拝命いたしました嘉村重雄です。「自分たちの町は自分たちで守る」という強い郷土愛護の心と常備消防、自主防災組織との連携強化を図り、住民の期待に応えられるよう、団員一丸となって頑張る所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

新居浜市消防本部消防長

毛利 弘



この度、4月1日付けをもって消防長に就任いたしました。消防団の皆様と共に、職員一同、安全安心なまちづくりを目指していく所存でございますので、今後とも御支援、御厚情を賜りますようお願い申し上げます。

大洲地区広域事務組合消防本部消防長

亀田 昌一



4月1日付けをもちまして大洲地区広域事務組合消防長を拝命いたしました亀田昌一です。地域防災力向上のため、消防団・自主防災組織との更なる連携のもと、住民の皆様が安全・安心に過ごせる町づくりを目指し、職員一同専心精励いたします所存でございます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大洲市消防団長

矢野 正祥



この度、4月1日付けで、大洲市消防団長を拝命いたしました矢野正祥です。多様化する災害に適切に対応できるよう、知識と技術の習得に努め、「自らの地域は自らが守る」という消防団精神のもと、地域住民の安心・安全のため、関係機関の皆様には、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西予市消防本部消防長

佐藤 克也



この度の人事異動によりまして、西予市消防本部消防長を拝命いたしました。人口減少時代に持続可能な消防体制を構築するためには、常備消防と非常備消防の新しい協力体制が必要と考えており、県内の消防の皆様に、ご指導をいただきながら、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

伊予消防等事務組合消防本部消防長

沖田 誠二



4月1日付けをもちまして、消防長を拝命いたしました沖田誠二です。南海トラフ巨大地震及び近年の異常降水による大きな被害が懸念される中、消防に寄せられる住民の期待は益々高まってまいります。今後は、消防団をはじめとした関係機関との連携を図り、地域防災力の向上に努めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西予市消防団長

廣瀬 吉孝



西予市消防団長を拝命いたしました廣瀬吉孝です。消防団を取り巻く社会環境は厳しい状況となっておりますが、今後も住民の期待に応えられる消防団であるために、自分たちが活動に参加しやすい、時代に即した環境を作っていくかなければならないと考えます。精一杯取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東温市消防本部消防長

高須賀 広一



本年4月1日付けで、東温市消防本部消防長を拝命いたしました。就任してその責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。消防団をはじめ、自主防災組織等関係団体との連携を一層深め、近年の異常気象による集中豪雨や近い将来想定される巨大地震等の災害から市民の生命と財産を守るという消防の使命を念頭に置き、精一杯努力してまいります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

四国中央市消防団長

江口 猛



この度、4月1日付けをもって四国中央市消防団長を拝命いたしました江口猛です。地域に根差した消防防災機関として、常備消防及び各地区自主防災組織との連携を深め、地域防災力のさらなる向上を図りたいと考えています。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

内子町消防団長

篠崎 耕太郎



4月1日付けをもって内子町消防団長に就任いたしました篠崎耕太郎です。火災をはじめ、様々な災害から住民みなさんの安心・安全を守ることはもちろん、団員の安全も確保し、消防署や地域の自主防災組織と連携を図り、防災・減災に努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

上島町消防本部消防長

濱田 将典



4月1日付けをもって消防長を拝命いたしました濱田将典です。住民の生命、身体、財産を守るため、消防団および関係機関との連携強化を図り、安心、安全なまちづくりに努めてまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

松山市消防団長

大西 浩司



この度、4月1日付けで松山市消防団長を拝命いたしました大西浩司です。近い将来発生が心配されます南海トラフ巨大地震では大きな被害が想定されており、地域防災の中核を担う消防団の果たすべき役割は非常に大きなものがあります。これからも、常備消防と一体となり、更なる活動強化を進めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻並にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

松野町消防団長

渡邊 広道



この度、4月1日付けで、松野町消防団長を拝命いたしました渡邊広道です。近年、団員確保の難しい中、災害は多様化しており「防災力の高い、安心、安全なまちづくり」を目指し、団員の資質の向上と組織力の強い活力ある消防団づくりに努めたいと思っております。関係機関の皆様には、変わらぬご指導をお願いいたします。

扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用



空冷式消防ポンプ
FT500
B-2級
FT450
B-3級

Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi
B-2級
FF450ZXi
B-3級



操法で活躍!

SHIBAURA

信頼と実績のキャブレタシリーズ
水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

第17回消防団幹部候補中央特別研修に参加して

平成30年2月14・15日 日消会館にて



西予市消防団 分団長 佐藤 ゆき

この研修の班長に選任されたとの報を受け、「何て年だ!」と思いました。

今年度は、愛媛県女性消防団員加入促進アピール大会での司会、全国女性消防団員活性化広島大会での鏡開きと、普段経験することのない役割が立て続けに当たりましたので...

班長の役割に重圧を感じながら始まった初日の課題討議では、思わず意見に聞き入ってしまった取りまわしとめる役割を忘れる私でしたが、参加者のみなさんがとてもやさしく接してくれたので、何とかその責務を果たせたと思います。

視察先の「そなエリア」では、施設の規模と内容に感動し、「消防団で東京へ行くときはここに行くべき」と、市の消防団担当者へ進言したほどです。

研修中にたたくさんの講話を聴講しましたが、私は山崎登先生が仮設住宅問題など実際の出来事を分かりやすく話された「最近の災害事例と消防団」が特に印象に残り、機会があれば多くの人に聞いてもらいたいと思いました。

全国各地の女性消防団員とここまで密に話し合える機会はめったになく、とても有意義な情報交換を行うことができ、未就学の子どもの対象としたゲーム感覚で防災グッズを学ぶ取り組みなどは、真似ていいからやってみたいと思いました。とても貴重な3日間の研修に参加させていただき、ありがとうございました。



西予市消防団 副分団長 酒井 美衣子

この研修への参加は早くから決まっております、全国各地の女性消防団員のみならずと交流ができることを心待ちにしておりました。研修期間中は、班のメンバーで、それぞれの活動内容についてたくさん話し合いました。

私が所属する明浜分団は女性団員だけで組織されており、広報活動や予防活動を中心とした活動に取り組んでいます。



訓練では放水をすることもありますが、火災現場での実放水をすることはありません。各地では男性団員同様に消火活動、水防、捜索などの活動にも従事される女性団員がおられ、それら活動の様子を聞いてみると、私たちも負けていけないという気持ちになりました。私の住む海岸部では南海トラフ地震により想定される津波等の災害に備え、避難訓練を実施していますが、研修が終わるころ、これまでは参加するだけであつた避難訓練に、消防団員として何か関われないかと考えるようになっていました。実際の被災地での仮設住宅問題や避難所の課題などの研修で知った知識を地域に伝えること、女性ならではの視点で訓練中に発見した課題を提言することなど、私にできることから始め、全国各地で活躍されている仲間にも負けられないよう、頑張ります。

一般住民の防災活動等

弓削・佐島地区防災士連絡協議会

リーダー 浜村 寿



瀬戸内海の中央部に位置し、広島県尾道市因島とはフェリーで3分あれば渡れる県境の島です。温暖で自然災害が少なく、非常に有り難い町です。その様な島なので災害に対する危機意識の薄いのも事実です。

毎年、上島町全域の避難訓練があり、各地域の一次避難場所での住民の安否確認や訓練終了後の地域単位での活動等のお世話を自主防災組織の役員さんと協力しています。先日新聞に災害時の初動対応策の必要についての投稿がありました。私が共感したのが、『自助・共助・近助』まさしく近所同志の日頃の挨拶も含め、ふれあい大切だと改めて感じました。自分達が住む地域は自分達が住む地域は自分達で守るを意識し回覧板単位での住民情報を共有し、地区役員と防災士が連携して災害時の備えに思いつくところです。

南海トラフ地震が発生し、県下でも初動態勢や危機意識が東予・中予・南予等々での違いが当然あります。自分達が住む地域は自分達で守るを愛言葉に、近助に励む所存です。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで 消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



MORITA 新基準活動服 SHIBAURA ジェットホース 消防ポンプ・防災機器 操法大会最速ホース

(株)岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116 高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyukai.co.jp

最強コンビ



ポンプ操法

株式会社 ヤマダ 1910年創業

TOHATSU 小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置	株式会社 吉谷機械製作所 消防ポンプ自動車 化学消防自動車	テイセン テイセン救助工作車 キンパイ消防ホース	YAMATO ROTEC ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器
-----------------------------------	-------------------------------	--------------------------	-----------------------------------

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号 TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

第44回消防団幹部特別研修に 参加して

平成30年1月9・12日
日消会館にて



松山市消防団
副団長
芳野 正至

平成30年1月9日から12日まで、日本消防会館で開催された「第44回消防団幹部特別研修」に参加させて頂いた。各都道府県代表の消防団長及び副団長の中から推薦された47名が参加し、4日間の研修が行われた。

研修は、日本消防協会秋本敏文会長の講話から始まり、総務省消防庁や東京消防庁、大学や民間の研究機関などからお越しいただいた講師による講義が行われ、最新の消防行政の動向や防災対策、火災防ぎよや災害医療など、様々な角度から消防防災について学ぶことができた。

また、研修生が6つの班に分かれて3日間それぞれのテーマで討議する課題研究で、私の所属した6班は「消防団員の確保対策について」をテーマに、所属する消防団の取り組みや課題を共有し、解決策を検討していった。どの消防団も共通して、サテライト化による日中の活動団員の減少や若年層と女性団員の確保を課題とし、加入促進のためチラシの配布やポスターの掲示、応援事業など様々な策を講じているが、最も重要なのは「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神で地域とのつながりを大切に、消防団員が直接声をかけ、共に活動していく仲間の輪を広げていくことであるとの結論に至りました。

消防団の長い歴史の中で築かれてきた伝統や規律を重んじながら、若年層や女性の視点も取り入れて、時代に即した魅力ある消防団を目指していかなくてはなりません。そして、未来を担う若い団員をこれからの防災のリーダーへと育てていくことが、私たち幹部の重要な役割であるということに改めて気づかされました。

全国各地それぞれの環境で、課題と向き合いながら活動している消防団幹部のみならず、情報共有し、新たな活路を見出し、これからの消防団の大きな可能性を実感することのできた4日間でした。貴重な機会をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。



第17回消防団幹部候補中央特別研修に参加して

伊方町消防団 本部分団長 石崎 憲治



平成30年1月31日から2月2日の3日間、日本消防会館において第17回消防団幹部候補中央特別研修が実施され、参加させて頂きました。

研修内容としては、近年の災害事例と消防団・危機管理・活動事例・消防団を中核とした地域防災力の充実強化、課題



川之江分団第三部 班長 竹本 靖

今回、平成30年1月31日から3日間、日本消防会館で開催された「第17回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させて頂いた。研修ではまず日本消防協会秋本敏文会長の講話から始まり、防災に関する様々な分野の方々の講義や実際の消防団での活動事例の発表などが行われ、どれも身になる講義ばかりでありました。

また研修の中では各グループに分かれ、討議テーマの若年層の団員確保対策、「サテライト化が進む中での効果

討議を行いました。課題討議では1班から10班に分かれ、私は10班の班長として「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」について討議を行いました。

課題として、消防団員の減少や職場が地区外のため、急な出勤に対応できる団員が少ない点、また、地元住民や自主防災組織との連携不足など、様々な問題点が上がりました。

対策としては、災害時に消防団を中心とした地域と役割分担しながら連携体系を明確化する

果敢な活動方針について、「消防団の訓練のあり方」、「消防団活動の問題点と解決策について」、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」などのテーマでグループ毎に与えられたテーマに沿っての討議が活発に実施されました。



松山市消防団 余土分団 部長 篠原 康夫

私はこの度、日本消防会館で平成30年1月31日から2月2日まで泊3日の日程で開催された、第17回消防団幹部候補中央特別研修に参加させて頂きました。

開校式と写真撮影のあと日本消防協会秋本会長から講話をいただき、東日本大震災で消防団員が24名亡くなられたこと

大変心を痛めておられ、その後、国に働きかけ平成25年12月「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、消防団の強化、地域の防災体制強化についてお話しいただき胸が熱くなりました。また、消防防災の分野で活躍されている方々より、写真や映像を基に講演いただき他人ごとではないと感じました。

課題討議では研究テーマごとに班編成され、私たちの班は「若年層の団員確保対策」について、各団員が抱えている問題点などの情報交換を行いました。参加者の階級は様々で、それぞれの立場での活発な議論が交わられ、最終日の発表に向け多くの意見から3点に絞り込み、課題に対する考えをまとめ発表しました。

グループ討議でのテーマについて、課題・対策を一部報告します。「若年層の団員確保対策」について【課題】家族・会社の理解が得られない。地域に若者がいない。印象が悪い。訓練が大変。そもそも消防団って何？【対策】SNSやSNSを活用し消防団活動をPR。小・中・高校生に対してPR。団員の息子への入団勧誘。仲間作りが出来る。家族にもメリットを。その他、愛媛県消防協会事業（未来の消防団加入促進事業）と余土分団で作成した団員募集チラシについて発表させて頂きました。



各種消防ポンプ車 救急車 高度医療機器 販売

防災用品 各種消防設備 販売

消防防災設備 給排水設備 設計・施工・保守

新日本ライテック

日本機械工業株式会社代理店
ヤマトプロテック株式会社代理店

http://www.sn-lt.com

南予営業所 〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130 tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社 〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号 tel.089-908-5766 fax.089-908-5767

● 点検・報告・整備・工事

- 消防用設備等・特殊消防用設備等
- 防火対象物点検・防災管理点検
- 防火設備点検
- 連結送水管の配管耐圧試験
- 消防用ホース耐圧試験

● 消防用機器等の販売

- 各種消火器
- 住宅用火災警報器
- その他各種防災用品
- 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～

株式会社 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089)934-4800
FAX (089)934-5533
E-mail : yons@ss4800.jp